

## Watershare を通じた国際研究機関との連携(平成 28 年度～)

## 1. 事業目的

Watershare(\*1)は、情報交換及び人的交流を通じた上下水道サービスの向上を目的とした、「水循環研究所(KWR)」(\*2)が主導する上下水道関係団体のネットワーク。

世界の先進的な取り組みや研究成果を共有し、日本の水道事業の抱える種々の課題解決に広く役立てることを目指して、水道技術研究センターは Watershare に会員(\*3)として参加し、これに関連する業務を担うための枠組みとして、「Watershare 国内運営委員会」(仮称)を設けることとした。

## 2. 運営体制

国内運営委員会は以下で構成(予定)し、Watershare との連絡窓口はセンターが務める。

- ・センター専務理事
- ・センター常務理事
- ・センター調査事業部長
- ・センター総務部主任研究員
- ・外部有識者(保健医療科学院、首都大学東京)

## 3. 活動内容

- ① 国内運営委員会の開催は年数回程度
- ② 委員は Watershare の提供するウェブ上のツールを用いながら、海外水道関係者と情報交換を行うとともに、Watershare の年次総会に参加

なお、今後、開催が予定されている 2018 年の IWA 世界会議(東京)、2019 年の水道技術国際シンポジウム(横浜)への、国外参加機関の誘致にも役立てる。

**参考****\*1 Watershare**

Watershare の会員は、水資源・浄水処理・配水・水質などの水関連分野で適用可能な種々の専用ツールをウェブサイトから利用することができる。また、水道に関する特定の課題解決、戦略策定の話し合いのため、毎年、会員を対象とした年次総会が開催される。

**\*2 水循環研究所(KWR)**

はオランダを拠点とする研究機関であり、株主であり顧客でもあるオランダの水道会社 10 社が、その株式を共同保有している。

# Watershare関連図

